

NIPPON SCOUT JAMBOREE NEWS

CHALLENGE!

Vol.1



19NSJ いよいよ、 はじまる。

全国から仲間が集まり、緑の大地にテントが立ち始める。
ここ神石高原に、7日間だけの物語が生まれる。
新しい仲間、新しい挑戦、まだ見たことのない景色。
この夏は、きっと一生の思い出になる！

The Adventure Begins Here.



そなえよつねに
ボーイスカウト



Welcome to 19NSJ

大会長からのメッセージ

第19回日本スカウトジャンボリー
大会長 三毛兼承

7月28日に発生した令和8年熊本地震により尊い命を失われた方々に、謹んで哀悼の意を表します。ご遺族の皆様には心よりお悔やみを申し上げるとともに、被災されたすべての皆様に深くお見舞いを申し上げます。今なお不自由な生活を強いられている方々、そして被災により参加が叶わなかった仲間がいることを、この会場に集う私たち全員が、片時も忘れてはなりません。

さて、私たちは、震災からわずか一週間というこの時期に、第19回日本スカウトジャンボリーを開催します。予定通りの開催については、様々な思いや声がありま



した。私たちは、そうした思いや声を受け止め、向き合う中で、むしろ今だからこそ、スカウトジャンボリーの開催に大きな意義があると信じ、開催を決めました。スカウト活動の原点は、自然の中での野外活動や日々の奉仕活動を通じて、自主独立の精神と社会への奉仕の心を培うことにあります。全国から多くの青少年が集うこの大会だからこそ、自然災害やそのそなえについて考え、必要な技術を磨くことができます。被災地へ募金活動を含めた支援を皆で届けることができ、そして、大会後には地元に戻り、被災地のために自分たちに何ができるかを考え、行動に移すことができます。どうか一人ひとりが、被災地に思いを寄せながら、ここで得たものを大会後の行動へつなげてください。

そのうえで、皆さんにはこの期間が充実した時間となるよう、思いきり楽しみ、学んでほしいと思います。今大会のテーマは「挑戦 ～神石から未来への一歩～」。豊かな自然に囲まれたこの神石高原で、全国から集まる仲間たちとさまざまな活動や交流を重ね、それぞれが未来に向かって力強く歩みを進める新たな挑戦をしてほしい、という願いを込めています。

また、今回のジャンボリーには海外からも仲間たちが参加しています。言葉や文化、国や地域の違いを超えて交流し、互いに理解を深めることは、スカウト運動が大切にしてきた「世界の友情」を育むことにつながります。ここ広島は、世界に平和の尊さを訴え続けてきた特別な場所でもあります。平和は、互いを知り、理解し、友情を育むことから始まります。この神石高原の地で生まれる友情が、日本を越え、世界へ広がり、未来の平和な社会を築く力となることを願っています。

全国から集まる仲間たちと共に、さまざまな活動や交流を行うこと、その一つひとつが、きっとかけがえない経験になり、皆さんをたくましく成長させてくれるはずです。

最後に、厳しい状況の中でも変わらぬご理解とご支援、ご協賛を賜りました企業、団体、行政、そして神石高原町をはじめとする地域の皆様に、心より御礼申し上げます。皆様の支えがあってこそ、この場に全国から仲間が集うことができました。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和8年熊本地震 被災地へ、私たちにできることを。

令和8年熊本地震で被災された方々を支援するため、第19回日本スカウトジャンボリーでは募金活動を実施します。地域プログラムでは、会場周辺の各地で街頭募金を行うほか、大会会場内にも募金箱を設置します。全国から集まったスカウト一人ひとりが「今、自分にできること」を考え、行動することもジャンボリーでの大切な学びの一つです。

また、各派遣隊では「地元へ帰った後、被災地のために自分たちができること」をテーマに話し合い、その思いを閉会式でスカウト宣言として発表する予定です。皆さんの温かいご協力をよろしくお願いいたします。

地域プログラム募金活動(予定)

今治市 道の駅 多々羅しまなみ公園

8月5日・6日・8日・9日 10:00～14:00

尾道市 尾道商店街「まちなみ文化交流館」前

8月5日・6日・8日・9日 10:00～14:00

福山市 福山城公園 ※調整中

(実施時間・日程は変更となる場合があります)

会場内でも
募金を実施

大会本部エリア
各サブキャンプ

Jamboree History

受け継がれてきた、スカウトの夏。

全国からスカウトが集い、ともに暮らし、挑戦し、友情を育む。

時代は変わっても、ジャンボリーには変わらないものがあります。それは、全国から集まったスカウトが出会い、ともに生活し、新しいことに挑戦することです。日本ではこれまで、各地で日本ジャンボリーが開かれ、多くのスカウトが、それぞれの「最高の夏」を過ごしてきました。

昔はスマートフォンもSNSもありませんでした。使う道具も、キャンプのスタイルも、今とは少し違います。でも、当時の写真を見ると、そこには今の私たちと変わらない笑顔があります。仲間と笑う顔。初めて会う友達に声をかける姿。夢中になって活動する姿。ワクワクする気持ちは、昔も今も変わりません。

そして、今年はいよいよ19NSJ。神石高原で過ごす7日間は、きっとあっという間です。でも、その一つひとつの出会いや挑戦は、一生の思い出になるかもしれません。さあ、次の日本ジャンボリーの歴史をつくるのは、私たちです。



広島県神石郡神石高原町 神石高原ティアガルテン



第1回 1956年
8月3日 - 8月7日
長野県 軽井沢
参加者数13,000人



第3回 1962年
8月3日 - 8月8日
静岡県 御殿場
参加者数26,181人



第5回 1970年
8月6日 - 8月10日
静岡県 朝霧高原
参加者数32,640人



第7回 1978年
8月4日 - 8月8日
静岡県 御殿場
参加者数26,288人



第9回 1986年
8月2日 - 8月6日
宮城県 南蔵王山麓
参加者数30,173人



第11回 1994年
8月3日 - 8月7日
大分県 久住高原
参加者数30,914人



第13回 2002年
8月3日 - 8月7日
大阪府 舞洲スポーツアイランド
参加者数20,588人
「第23回アジア太平洋地域ジャンボリー」



第15回 2010年
8月2日 - 8月8日
静岡県 朝霧高原
参加者数19,382人



第17回 2018年
8月4日 - 8月10日
石川県珠洲市 りふれっしゅ村 鉢ヶ崎
参加者数13,414人

第19回 2026年
8月4日 - 8月10日

1959年 第2回
8月6日 - 8月10日
滋賀県 饗庭野
参加者数17,350人



1966年 第4回
8月5日 - 8月9日
岡山県 日本原
参加者数29,561人



1974年 第6回
8月1日 - 8月6日
北海道 千歳原
参加者数26,305人



1982年 第8回
8月2日 - 8月6日
宮城県 南蔵王山麓
参加者数30,144人



1990年 第10回
8月3日 - 8月7日
新潟県 妙高高原
参加者数31,972人



1998年 第12回
8月3日 - 8月7日
秋田県 森吉山麓
参加者数26,740人



2006年 第14回
8月3日 - 8月7日
石川県珠洲市 りふれっしゅ村 鉢ヶ崎
参加者数20,652人



2013年 第16回
7月31日 - 8月8日
山口県 阿知須きらら浜
参加者数14,340人
「第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー」



2022年 第18回
夏休み期間 全国各地 (分散開催)
参加者数14,474人
開催方式は初の分散開催







京都から神石高原へ！ 2泊3日、孤独と雨を越えた自転車の挑戦

8月3日(月)19時20分頃、京都府宇治市から自転車でジャンボリー会場を目指し走ってきたベンチャースカウトの川村^{はじめ}さんが、ついにゴールを果たしました！ 富士スカウト章に向けた移動キャンプとして挑んだこの旅は、2泊3日、走行距離約300kmの過酷な道のり。たった一人での走行は「体力よりも精神的につらかった」と振り返りますが、到着時には盛大な拍手で迎えられました。

道中は雨にも見舞われましたが、「汗のほうが多いから気にならなかった」と笑顔を見せる川村さん。「またやりたいような、やりたくないような……」という複雑な本音や、「帰りはバスで帰りたい！」という言葉に、全力を出し切ったスカウトのリアルな達成感が滲んでいました。



ゴールの瞬間



ベンチャー隊長とゴールの喜びを分かち合う様子



ジャンボリーの 「今」を、 スカウトの目線で。

ジャンボリーでは、毎日いろいろな出来事が起こります。初めて挑戦したプログラム。思わず「すごい！」と声が出た瞬間。ほかの地域から来たスカウトとの出会い。仲間と力を合わせて乗り越えたこと。会場の片隅で見つけた、ちょっとおもしろいもの――。

そんな19NSJの「今」を、スカウト自身の目線で見つけ、取材し、みんなに伝えるのが「スカウト通信員」です。

スカウト通信員は大会期間中、会場のいろいろな場所へ出かけます。気になる人を見つけたらインタビュー。おもしろい活動を見つけたら、その魅力取材します。

大人の取材スタッフとは違う、スカウトだから気づけること。スカウトだから聞けること。そして、同じジャンボリーを過ごす仲間だからこそ伝えられることが、きっとあるはずです。

取材した記事は、明日からこのJAMBOREE NEWSに登場します。

サブキャンブ
ライフの時間帯を
利用し、自由に
参加できます！

参加方法

日時:8月5日(水)、6(木)、8(土)、9(日)

13:30～16:30

※最終受付15:00

場所:本部会議所にて

YOUR MISSION

ジャンボリーの「！」 を見つけよう。

すごい！ おもしろい！
かっこいい！ 初めて知った！
あなたが感じたその「！」が、
ニュースのタネです。

**Vol.3から、スカウト通信員
の記事がスタート！**

JAMBOREE VOICE

いよいよ19NSJが始まります！
会場では、みんながやって来るずっと前から、
たくさんのスタッフが準備を進めてきました。
そんなスタッフのみなさんから、これから7日間を過ごすスカウトへ。
期待とワクワクを込めた「ひとこと」を届けます！

スケッチブックを
持った取材班を
見つけたら、
ぜひ参加を！！

今回のテーマ：「スカウトのみんなに、ひとこと！」



明日取材の(8/6 発行予定)ボイステーマ「私のChallenge」

BEHIND THE SCENES

ジャンボリーを支える運営スタッフのお仕事

プログラム部

ワクワクする場内・場外プログラムや、全員が集まる大集会の企画・運営をしています。みんなが新しいことに挑戦し、仲間と最高の思い出が作れるような「感動のステージ」を全力でプロデュースしています！



様々なプログラムとセレモニーを是非楽しんでください。

プログラム部部长
小山 正芳さん



JAMBOREE LIFE

7日間を120%楽しむ5つのコツ!

ちょっと知るだけで、ジャンボリーはもっと楽しい!
今日から使えるコツを、先輩スカウトが教えてくれるよ!

1 自分から話しかける!

知らない人ばかりでドキドキしても、最初のひとことが友達への第一歩!

知らない人ばかりだ...

あの...どこから来たの?

へえっ! 遠い!

POINT

最初のひとことから、友達はできる!

「どこから来たの?」「ネッカチーフ、かっこいいね!」など気軽に話しかけてみよう。

2 「初めて」に挑戦する!

せっかくのチャンス! できることより、やったことのないことにチャレンジしてみよう!

カヌーか、やったことないな...

でも...やってみようかな!

いいね!

POINT

迷ったら、やったことのない方へ!

新しい自分に出会えるかも!

3 自分のサイトから飛び出す!

サイト外には、おもしろいことやすてきな景色がたくさんある!

ちょっと疲れたし、ここでもいいか...

あっ、あっちに何かありそう!

面白そうなもの見つけた!

POINT

歩けば歩くほど、発見がある!

ジャンボリーは広い! いろんな場所に出かけてみよう。

4 「すごい!」を伝える!

「すごい!」は会話を始める魔法の言葉。

わっ、このゲートかっこいい!

これ、自分たちで作ったの? すごい!

そうなんだよ!

よかったら見ていく?

POINT

「すごい!」は会話を始める魔法の言葉。

ほめることで、もっと仲良くなれるよ!

5 毎日ひとつ、覚えておこう。

7日間はあっという間。だから毎日ひとつ、忘れたくない瞬間をつくらう

8月4日 (火)

北海道に友達がきた!

カヌー、楽しかった! 星がきれいだった!

7日間は、きっとあっという間。だから毎日ひとつ、忘れたくない瞬間をつくらう。

Challenge

Safety and Security DEPT.

安全・警備部からのお願い

画面から離れて、目の前の大冒険へ!

「おっと...!」 人とぶつかってあわや大けが・大事故に...被害者にも加害者にも...。歩きスマホは思わぬケガの原因になるだけでなく、「今しか味わえない瞬間」を逃してしまう大きな原因になります。目の前には、共に笑い合う全国の仲間、夕焼けに染まる大自然、夜空に広がる満点の星が待っています。その感動はどれだけ探しても小さな画面の中にはありません。そういうことを楽しむ雰囲気みんなで作り出すことが重要です。スカウトの皆さんが安全にそしてジャンボリー生活を真の意味で満喫できるよう、警備スタッフからも場内でのみだりなスマホ使用には声をかけようとしています。スマホは「機内モード」にし、五感でジャンボリーを全力で楽しみましょう。安全を第一に、目と体と心に最高の思い出を焼き付けてください。

安全ワンポイント

歩きスマホは厳禁

意識してスマホを触らない雰囲気づくりを

スマホは「機内モード」へ

中央救護所からのお知らせ

今、増えているのは...
熱中症・脱水症

暑さに慣れないまま活動が続けると、熱中症になる危険があります。「まだ大丈夫」と思っている、体調は急に悪くなることがあります。少しでも頭痛やめまい、気分の悪さを感じたら、無理をせず近くの指導者やスタッフに知らせましょう。

熱中症・脱水症を防ぐための3つのポイント

① のどが渇く前に水分補給

② 帽子をかぶり、日陰で休憩

③ 毎日しっかり睡眠を

明日の主演は、あなたかも。

JAMBOREE NEWSでは、一生懸命挑戦する姿、仲間と笑い合う笑顔、力を合わせて活動する様子など、19NSJでしか見られない瞬間を毎日取材しています。カメラを持ったスタッフを見かけたら、ぜひ笑顔で手を振ってください! あなたの写真が、明日のJAMBOREE NEWSに掲載されるかもしれません。

DISCOVER JINSEKIKOGEN

ジャンボリーの舞台・神石高原には、豊かな自然やおいしい特産品、地域の人たちが大切に受け継いできた文化など、たくさんの魅力があります。このコーナーでは、毎号ひとつずつ神石高原の「宝もの」を紹介します。

トマト

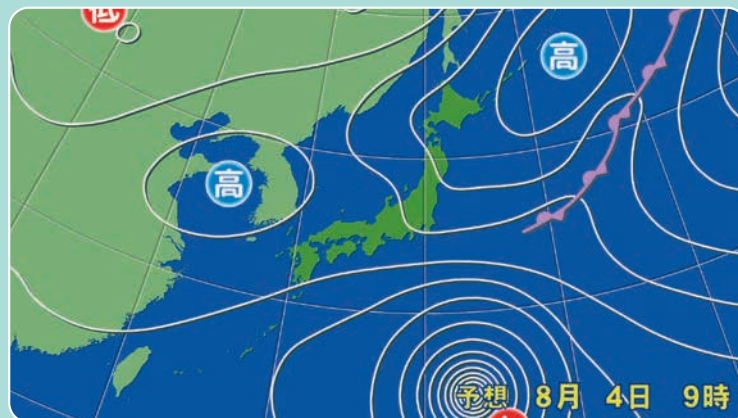
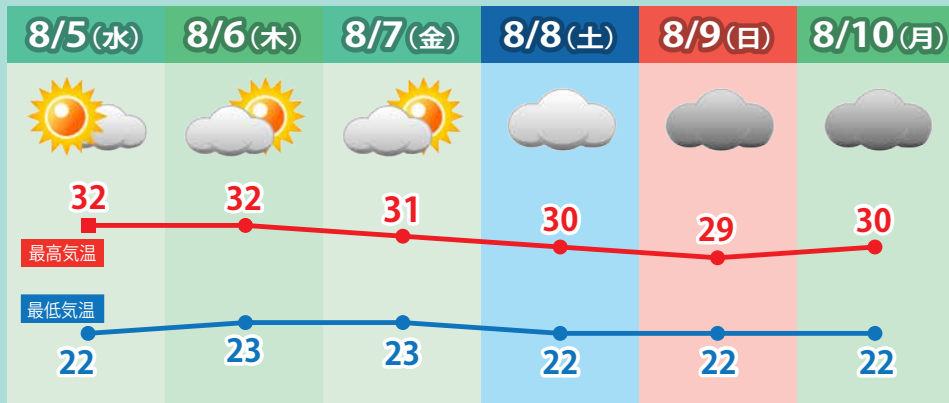
太陽と大地の恵みをたっぷり浴びて育ったフレッシュな味わいを

標高500~700mの神石高原町は、昼夜の寒暖差が大きい気候を活かした「高原野菜」の栽培が非常に盛んです。なかでも「神石高原トマト」は、引き締まった果肉とぎゅっと凝縮された甘み・酸味のバランスが抜群。甘さを最大限に引き出した完熟トマトはもちろん、町内では特注の「トマトケチャップ」や珍しい「トマトジャム」といった加工品も人気を集めています。太陽と大地の恵みをたっぷり浴びて育ったフレッシュな味わいを、ぜひ味わってみてください!

広島や関西の市場でも販売。高い評価を得ています。

7

2026年8月5日(水) 神石高原町の天気・気温



気象予報士
さんちゃん
の
お天気メモ

きのうは九州の各地で40℃を超える酷暑となりました。夜は涼しくなるとはいえ、昼間の暑さは「高地」とは思えない厳しさがありますね。

台風13号は遠く南の海上を西へと進んでいます。広島へ直接影響するリスクは大きくありませんが、台風は湿った空気を大量に送り込むため、今夜も雷雨になる可能性があります。

あすはきょうより雲が出そう。少しは暑さをしのげるかな???

協贊企業

Platinum Sponsor



世界が進むチカラになる。

Gold Sponsor



Silver Sponsor



Bronze Sponsor



Official Supplier



株式会社ウェザーマップ／オタフクホールディングス株式会社／株式会社森岡商店

第19回日本スカウトジャンボリーは、2026年度日本万国博覧会記念基金の
助成事業として実施いたします

